

健診検査センターニュース

No.518 号

運営委員会より

8月21日(木)平成26年度第5回の委員会を開催いたしました。

この度、当運営委員会の委員長に、選任されました平山です。

今号より新しく「診療報酬に関する審査」というコーナーを新設いたしました。

このコーナーでは、「検査」に関わる、診療報酬の審査項目を、皆様で共有しようとの目的で新設いたしました。全く、理不尽な、理由もわからず審査される事も多々ある、この件に関して、情報を検査センターに一元化し、皆様に広報し、診療の一助になれるようにとの思いであります。当然、限られた人数である運営委員の情報だけでは、充分ではありません。皆様方からの情報も、どしどし募集しておりますので、お気づきの点や審査された件などがありましたら、ご面倒でも、一度センターにお電話頂きたいと思っております。その後、情報をセンターで精査し、お伝えしたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. 特定健診7月の実施件数は、下記のとおりでした。

	7月受診数 (前年比)	累計 (前年比)	函館市国保受診率
函館市国保	1,254 人 (− 65)	2,955 人 (− 85)	7月現在 5.44% / 目標 30.0% 達成率：18.1%
後期高齢者	738 人 (+ 61)	1,569 人 (+ 73)	
その他	218 人 (+ 4)	570 人 (− 31)	
合計	2,210 人 (+ 0)	5,094 人 (− 43)	

実施機関：99 施設 / 登録機関 106

- 7月の受診者数は、2,210人と前年同月と同数でした。内訳としましては、個別健診で前年比66人の増、集団健診で前年比66人の減、保険者別では国保が前年比65人の減、後期高齢者が前年比61人の増、協会けんぽその他で前年比4人の増となり、依然国保が減少、後期高齢者が増加の傾向を示しています。
- 函館市より、国保の受診率アップの対策のため、平成20年度からの未受診者35,000人を対象に、受診勧奨ハガキを8月22日に送付いたします。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2. 26年7月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	7月 (前年同月比)	26年度累計 (前年比)
一般検査収入	100.5 %	96.6 %
健診収入	92.7 %	104.8 %
合計	96.4 %	100.0 %

3. その他

職員の採用1名の報告がされました。

《 ちょっと一言 》

今月からこのコーナーを担当する事になりました、小葉松です。前任の平山繁樹先生（現健診検査センター運営委員長）からのご指名ですので、笑顔で「うん！いいよ！！」と引き受けました。このコーナー担当になり、過去の《<<ちょっと一言>>》をひもといてみたところ、平成22年4月が初回で、平山繁樹先生はなんと4年間も毎月書き続けてくださったのでした。

その4年間の《<<ちょっと一言>>》の中で、私が一番好きなのは、平成26年2月です。多分、書いた本人も覚えていないのでは、と思いますので、ご紹介します。

平山先生は、日医連医政活動研究会への参加者が少ない事を嘆きつつ、その会や医師会活動全般を、やっている意義があるのかな？と疑問をもちながらも、『しかし誰かがやらなければならない事だし、私、体育会系の人間なので「やれ！」と言われたら、「NO!!」って言えないんですよ～（笑）子供の頃、妹に何か頼み事をすると、いつでも即座に「うん！いいよ！！」と、にっこりと笑って答えてくれました。子供ながらに、とても心地よく感じたものでした。（中略）もう大人になり、頼み事も少なくなり、今はどうなのかはわかりませんが、私は、今でも、出来るだけ「うん！いいよ！！」と答えるようにしています。なので、なるべく、私に仕事や頼み事をしないでくださいね！！（笑）。』

この文章を読んだ時、私は「彼のような人が増えれば、人類史上いまだかつてない少子化高齢化のこの国にも、必ず希望はあるはずだ！」（かなり飛躍した発想ですが）と思ったのでした。なので、まずは私も「うん！いいよ！！」をあやかりました。

確かに、人からの頼まれ事を引き受けていると、雑用が増え、忙しくなります。でも、その仕事を引き受けた事で、新たな出会いがあり、自分が今まで知らなかった事がわかったり、以前とは明らかに変化した自分に気付きます。何より人から感謝されるので、あったかい気持ちになり、幸福度が上がります。

というわけで、皆さんも「うん！いいよ！！」をあやかってみませんか？

（文責 小葉松洋子）

診療報酬請求に関する審査事項のお知らせ

平素より、当センターをご利用頂きありがとうございます。
このたび、診療報酬の請求に関する審査事項につきまして、新しい情報が入りましたのでご案内いたします。

1. 遊離トリヨードサイロニン（FT3）検査の取り扱いについて

6月頃より、「甲状腺機能低下症」または「橋本病」の経過観察においては、保険診療上はFT3検査の算定を認めないとの、新規査定が出ましたのでご注意ください。

なお、FT3は「甲状腺疾患」の診断時及び「甲状腺機能亢進症」、または「バセドウ病」の経過観察の場合には、認めるとの事です。

つきましては、それに伴いセンターのセット検査またはユニット検査をご利用の際には、下記のご利用をお勧めいたします。

◎「甲状腺機能低下症」または「橋本病」の経過観察の場合、①または②

① 甲状腺-1： FT4、TSH、抗TPO抗体、CPK、TC、CRP

② 甲状腺-2： FT4、TSH

◎「甲状腺疾患」の診断時及び「甲状腺機能亢進症」、または「バセドウ病」の経過観察の場合、①または②

① 甲状腺-3： FT3、FT4、TSH

② U-36： FT3、FT4、TSH

2. 「診療報酬請求書等の記載要項等について」の一部訂正に伴う留意事項について

8月4日支払基金より、総鉄結合能TIBC（RIA法）、不飽和鉄結合能UIBC（RIA法）を算定する場合、他の検査で代替え出来ない理由を記載することとなりましたとの通知がありましたのでご注意ください。

なお、当センターで実施の総鉄結合能TIBC（バソフェナントロリン直接法）、不飽和鉄結合能UIBC（バソフェナントロリン直接法）は、これには該当いたしませんので、これまで同様ご利用頂きますようお願いいたします。

新規実施項目のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目を外注しておりましたが、当センターにおいて検査することとなりましたのでお知らせいたします。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日：平成26年9月8日（月）受付分より

変更項目：2903 抗ヘリコバクター・ピロリ抗体

	(新)	(旧)
項目名称	抗ヘリコバクター・ピロリ抗体	抗ヘリコバクター・ピロリ IgG 抗体
検査方法	ラテックス凝集免疫比濁法	E I A
基準値	10未満 (U/mL)	
所要日数	2日	5日
検査実施料	80点	
検査判断料	144点 (免疫検査学的検査判断料)	
備考	所要日数短縮	
	IgG、IgA、IgM を測定することにより、感度が向上	

		旧 法		
		陽性	陰性	合計
新 法	陽性	119	16	135
	陰性	14	197	211
	合計	133	213	346

陽性一致率： 89.5% (119/133)
陰性一致率： 92.5% (197/213)
一致率： 91.3% (316/346)

爪白癬検査について

依頼方法	一般・細菌検査依頼書の備考欄に「爪白癬検査」と記入して下さい。 *培養同定検査が必要な場合には、別途ご指示下さい。
検査方法	苛性カリ(KOH)法
検査結果	陽性の場合「糸状菌：(+)」、陰性の場合「糸状菌：(-)」と表示致します。
所要日数	2日
検査実施料	61点
検査判断料	150点(微生物学的検査判断料)
検体採取方法	皮膚糸状菌は爪甲下部に寄生していることが多いので、爪甲下の角質増殖部から採取して下さい。爪切り・小バサミ・メス等を使って爪甲表面を削り、その下の口ウ状の黄色がかった角化組織片を採取して下さい。
検体提出方法	総合検査案内・検体容器一覧 No.24 青栓滅菌ポリスピッツ、又はNo.31 滅菌タッパに検体を入れて下さい。

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
TEL 0138-57-6571・FAX 0138-57-6580
E-mail : info@hma-labo.jp